

7/01 はアユの解禁です。近隣のアユファンが、早朝から広瀬川下流域の広瀬橋に繰り出し、今年のアユ釣りの感触を味わっていました。この近辺はガラがけの釣り人が多く、名人は午前中で30匹ほど。大きさは16cm前後とまだ小ぶり。9月まで石コケを盛んに食べ、20cm位まで成長します。気になる放射能汚染は、新聞報道によれば国の基準値以下で問題ないとのこと。アユ釣りファンとしては、ひとまず安心です。



広瀬橋下流・アユ釣り場

さて今、ホタルのシーズンです。青葉区下落合にある「蕃山ホタルの里」白石市薬師堂で開催中です。太白区大野田小北側を流れる旧策川「大野田ホタル観察会」が今月7日開催予定です。ゲンジボタルとヘイケボタルが来月初め迄見ることができます。観察のルールは静かに、ライトをつけない事です。ゴミは持ち帰りですが、ホタルの持ち帰りは禁止。ぜひお誘い合わせの上、ホタルを見に行ってください。温度が上がり、湿度が高い夜の8時頃が見頃ですよ。



広瀬橋下流・アユ釣り人

天候などにより、下記予定が変更される場合があります。掲示板でご確認願います



<予定> (7~8月)

- 7/07 (土) 19:00 ~ 旧策川 大野田ホタル観察会
- 7/08 (日) 8:00 ~ 大橋下流 伊達名誉会長「アユの会」
- 7/14 (土) 10:00 ~ 広瀬橋地区清掃
- 8/11 (土) 10:00 ~ 広瀬橋地区清掃
- 8/20 (月) 15:00 ~ 広瀬川灯ろう流し 協力
- 8/25 (土) 8:00 ~ 八本松河原「政宗さんの川狩り」



さあ左の写真は何でしょう？  
 実物の長さは、わずか1mmほど。  
 そうです。昨年8月に生まれたばかりの約1万匹に及ぶホタルの幼虫です。  
 幼虫は水中で生活し、4月頃上陸、土の中でサナギになり、約1ヶ月で成虫になります。エサは、カワニナ貝等の肉を溶かして食べます。



右は、ゲンジボタルの成虫  
 6月から7月中旬に順次成虫となって、約10日程で一生を終えます。  
 成虫はエサを食べません。水だけで生きています。  
 一匹のホタルが、約1000個を産卵しますが、成虫になるのは、わずか0.5%程に過ぎません。  
 闇の中で、小さな光を放ちながら次の世代につなぐ営みに大きな命を感じます。  
 では、神秘的なホタルの明滅を楽しんで下さい。癒されますよ。

初蛸 かなしきまでに 光るなり 中川宋淵

## NPO法人広瀬川の清流を守る会

☎022-247-6522 ☎290-3205 ✉[info@hirosegawa.com](mailto:info@hirosegawa.com) URL [www.hirosegawa.com](http://www.hirosegawa.com)

〒982-0011 仙台市太白区長町1丁目2-16-201 (昭和宅建内)